

# YOSANO

広報よさの

No.23

広報よさの 1 2008 No.23

発行：与謝野町役場 編集：企画財政課  
住所：〒629-2292 京都府与謝郡与謝野町字岩瀬1798番地1

TEL：0772-46-3084(直通)  
FAX：0772-46-4630

URL：http://www.town.yosano.lg.jp/  
E-mail：kk@kuzisei@town.yosano.lg.jp



## 特集 町長新春インタビュー

2008

1

●今月の表紙  
大内峠一字観公園から望む日の出  
(12月20日撮影)

### 与謝野町町民憲章

わたしたち与謝野町民は 豊かな自然と歴史に育まれた郷土を誇りに思い

お互いが思いやり 元気あふれる住みよい町を築くため この憲章を定めます

一 自然を守り環境美化に心がけましょう

一 伝統と文化を大切に学びの心を育てましょう

一 きまりを守り自律心を養いましょう

一 あたたかい家庭と地域の絆を大切にしましょう

一 健康で仕事に励み豊かな未来をつくりましょう

平成二十年一月制定

平成十九年七月から十一月にわたり、十三人の委員のご協力をいただき制定作業を進めてきた「与謝野町町民憲章」が一月一日に制定されました。

町民の皆さんから、町民憲章に關するたくさんの方の意見をいただき、制定委員会で一つ一つの言葉を丁寧に審議しました。  
そしてここに、皆さんの心にとつと持ち続けてもらえる憲章が完成しました。

●与謝野町町民憲章制定委員会

(五十音順・敬称略)

- 赤松 孝一【議会】
- 井田 義之【体育協会】
- 芋田 保子【婦人会】
- 上田 清美【商工会】
- ◎坂根 學【青少年育成会】
- 白杉 直久【教育委員会】
- 須田 芳一【老人クラブ連合会】
- 谷口 義明【連合PTA協議会】
- 西原 宏【区長会連絡協議会】
- 堀口 卓也【役場】
- 松尾 豊子【民生児童委員協議会】
- 茂籠 武【社会福祉協議会】
- 安岡 孝子【文化協会】

◎は委員長 ○は副委員長



太田 貴美 おおた あつみ

昭和21年、京都市生まれ。ノートルダム女子大中退。三河内在住。昭和50年に野田川町議に初当選後、副議長、議長などを歴任。平成6年に京都府初の女性町長として初当選以来、3期野田川町長を務め、加悦町・岩滝町・野田川町合併協議会会長として与謝野町誕生に尽力した。座右の銘は「夢の蓄積は正夢となる」

◎町長新春インタビュー

住民と行政の協働により  
「与謝野町総合計画」を  
実行に移していく一年に

与謝野町のまちづくりの方向性が見えてきた平成十九年。まちの舵取り役である太田町長はどのように実行していくのか。この一年の展望と抱負を聞いた。

●昨年を振り返って

与謝野町の若い力が光輝き、  
まちの方向性を具体化できた一年

——明けましておめでとうございます。昨年は与謝野町誕生後二年目となった年でしたが、一年を振り返っていかがでしたか。

明けましておめでとうございます。幸いなことに、与謝野町においては大きな自然災害が起きず平穏な一年だったといえるのではないのでしょうか。

また、まちの礎となる、いろいろな組織づくり、計画づくりがスムーズに進められた「プラン（計画）」の一年であったと思います。

——町内の方や出身の方が活躍するといううれしいニュースが多い年でもあったように思いますが。

そうですね。昨年一年を振り返ってみると、与謝野町の若い力が光輝いた年でした。

——として木崎良子さん、西原加純さんが大阪府代表として鈴木亜弥さんが出場されました。その活躍は都大路を大いにわかし、私たちに感動を与えてくれました。また、木崎さんは八月に夕

イのバンコクで行われた「第二十四回ユニバーシアード競技大会」陸上女子一万メートルで銀メダルを勝ち取られるなど、その活躍は見事でした。

さらに、十一月には野田川町商工会青年部の堀尾知弘さんが、全国商工会青年部主張発表大会において、見事最優秀賞の栄冠に輝き日本一となられるなど、与謝野町の若い力が様々な分野で全国に、世界に名を轟かせてくれました。

——昨年の年頭のあいさつで町長は、平成十九年を「持続可能な発展」を推し進めるための礎を築く年」と位置づけておられました。その成果を聞かせてください。

ひまわり十五万本、大江山登山マラソン、オータムフェスティバルなどの旧町時代から町民の皆さんにお馴染みのイベントを、旧町の垣根を越えて盛大に行うことができ、徐々にはありませんが、町民の融和、一体感の醸成を身をもって感じるようになりました。

また、三月には合併一周年記念事業を行い、町民の皆さんの手作りによる、口ずさめば「大江の峰」「野田の川」「阿蘇の海」といった与謝野町の自然豊かな情景が浮かび上がる、素晴らしい「与謝野町歌」を初披露することができました。加えて、「与謝野町民」としての自覚と誇りを持ち、自らできること、そして守るべきことを明記した「町民憲章」の制定作業が、こちらも皆さんの意見をいただきながら進められ、本年一月一日に制定することができ、町のスタートにあたってのシンボルが完成した一年でした。

——シンボルづくりもさることながら、与謝野町のまちづくりが動き出したと感じられる一年でもありましたか。

冒頭でも申し上げましたが、町民の皆さんの多大な協力を得て、組織づくり、計画づくりといった体制づくりができ、「総合計画」「行政改革大綱」などが制定されたことで、まちの方向性を具体化することができました。

いよいよ今年は、出来上がった計画に沿って具体的にまちづくりを進めていくスタートの年となります。



町の花  
「ひまわり」



町の木  
「樺」

●総合計画の推進

# 情報公開に努め、町民の皆さんとの対話を大切に進めていきます

——今後十年間のまちづくりの指針となる「与謝野町総合計画」の答申が二月五日、総合計画審議会からありました。町長は総合計画をどのように推進されるお考えですか。

今までと大きく違うのは、当初から町民の皆さんの参画によって、総合計画をはじめ各種計画がつくられたことです。委員の皆さんには真剣に議論いただき、町民の皆さんからは貴重なご意見やご提案をいただき本当に感謝しています。

「みんなの計画」「ひろがる計画」で「さぐる計画」の総合計画は「絵に描いた餅」にならないように、住民ニーズを踏まえ、基本計画ではそれぞれ「現状と課題」を分析、そして「施策方針」を掲げ、具体的な数値を上げたきめ細かな計画となっています。答申いただいた内容を大事にして、「実施計画」を早急に立て、計画に沿って進めていきたいと考えています。

——特にまちづくりアンケート等で住民ニーズが高く、審議会で議論が集中

よう推進していきたいと思います。  
——総合計画の答申では「強いリーダーシップを発揮」して計画を推進していくことが求められています。この点についてどのようにお考えですか。  
与謝野町を船に例えるならば、「与謝野丸」は波静かに出港できたといえます。しかし、この先どんな荒波が待ち受けているかわかりませんし、もし危機的な状況に陥った時でも、安全に乗客を対岸に届けなければなりません。

時には舵を大きく切って危険を回避し、時には近くの港に避難しなくてはならないときもあるでしょう。方向を見失わず、その時々状況に応じた「的確な判断」ができるか、これがリーダーには問われているのではないのでしょうか。そのためには、社会情勢の動向に配慮し、常日頃からいろんな人の意見を聞き、情報を収集しておく必要があります。

船の話に戻すなら、「必ずあつちの岸にたどり着くんだ」という舵取り役の強い意思を乗組員や乗客に発信していくこと、そしてその意思をみんなの共通の意思とすること、これが「リーダーシップを発揮すること」であり、その過程では皆さんに情報を開示しながら対話を大切にすすめていくことが求められているのだと思います。

した与謝野町の重要課題を「重点プロジェクトの推進」として集約されていますが、これについてどう思われますか。

「地域経済の活性化」「安心・安全の基盤整備」「子どもたちの健全な成長」「地方分権時代に対応した自治体改革」の四点を重点的に取り組むよう示されています。この重点施策は私が掲げるローカルマニフェストとも一致しており、「実施計画」の中で具体化して実行していく考えです。

ただ、皆さんもご存知のとおり、財政状況は非常に厳しい状況なので、計画を実行するにあたって、行政は徹底して内部の総点検をし、無駄を省き、事業の精査を行うことにより、その中から新たな財源を捻出していかなければなりません。もちろん、これは行政だけでなくできるものではないので、皆さんの知恵と協力を集め、未来に向けて、新しいビジョンである総合計画を展開していくと考えています。

——皆さんに協力を求めるということ

は、すなわち行政と住民との「協働」  
●平成二十年の展望

# 「水・緑・空 笑顔かがやくふれあいのまち」の実現に向けて

——最後に、平成二十年の展望をお聞きします。この一年は町長の任期の折り返しの年でもあります。どんな一年と位置付け、まちづくりを進めていくお考えですか。

昨年十二月に国の平成二十年度予算編成の基本方針が出されました。その内容は、歳出削減は維持しつつ、地方の再生を重点とした施策の推進を図り、税制改革と併せ地方交付税の特別枠を設けるなど、地方への配慮がなされる予算配分となっています。衰退しつつある地域力の活性化に向けた国の支援のもと、地域間格差の是正、地域力の再生を図っていききたいと思います。なかなか厳しいものがあります。

加えて、行政改革や地方分権の推進、福祉・環境問題等、町が抱える課題はますます増大することが予想されます。町単独でできない生活基盤の整備などについては、近隣の市町や京都府と連携を密にし、地域一体となり歩調を合わせて進んでいかなければなりません。また、昨年は「丹後天橋立大江山国

ということですが、総合計画でも重要なポイントとして推進することとされています。住民との協働を進める手法についてお聞かせください。

自分たちでできることは自分たちです（自助）、地域共同でできることは地域です（共助）、事業者ができることは事業者です（商助）、行政はそのような自助・共助・商助を応援するとともに、行政にしかできない責務を果たす（公助）というように、総合計画では皆さんお一人おひとりの役割分担が明確にされています。

今までも皆さんの要望をお聴きし、課題を把握する場として、「町政懇談会」を行ってききましたが、今年には総合計画をテーマに皆さんとまちづくりについて意見交換したいと考えています。

そのためにも、総合計画の概要版を十九年度末に全戸配布し、計画の趣旨を皆さんにお知らせします。それだけにとどまらず、あらゆる機会を通じて計画の内容をPRして浸透を図り理解を求めていくこととします。

総合計画は、皆さんが同じ理解の上で「みんなの計画」にしていくことが大切で、まちづくりの羅針盤として「ひろがる計画」としていかなければなりません。そして、それぞれの立ち場での力が発揮できる「できる計画」となる

定公園」がこの地域に誕生し、天橋立を世界遺産に登録しようとする動きが活発化した年でもありました。この大切な資産は日本の、いや世界の遺産として十分な価値があるものです。こちらも近隣の市町と手を携え、地域の皆さんとともに世界遺産登録への機運を高め、この地域の魅力を発信し続けていきたいと考えています。

与謝野町としては、平成二十年度で三年目を迎え、総合計画や行政改革大綱のそれぞれの実施計画に基づき、町の将来像である「水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち」の実現に向けて町民の皆さんと共に知恵を絞り、新町の礎を築き上げていく「ドウ（実行）」の年と位置付けています。

この一年は自立していくために自らの頭で考え、自らの足で未来に向かって歩むその大きな第一歩を踏み出す年です。「住民」と「行政」のパートナーシップのもと、一人でも多くの方々が輝いている与謝野町となるよう、未来に向かってともに進んでいきましょう。



京都府知事  
山田 啓二  
やまだ けいじ

「京都」を日本の「未来の扉」に

府民の皆様、新年おめでとう  
ございます。穏やかな新年をお  
迎えることと思います。  
ただ振り返りますと昨年は、  
景気は好調といわれたものの、  
実感として格差問題に代表され  
るように府民の暮らしに直接反  
映されたと言ひ難く、また痛  
ましい事件が絶えないなど、身  
近な生活における安心・安全の  
確保の大切さを、改めて痛感す  
る一年でもありました。

さらには、府民の皆様が力を  
最大限に生かされるよう、「地  
域力再生元年」と位置づけ、商  
店街振興や都市農村交流から子  
育て支援、環境対策、犯罪防止  
まで、身近な問題に取り組む府  
民の皆様を支援する「地域力再  
生プロジェクト」を積極的に展  
開してきたところです。

「未来の扉」は、もちろん地  
域力だけではありません。京都  
には世界に誇る「文化」、そし  
て世界に発信し続けてきた「環  
境」に対する思いがあります。  
今秋は、世界に誇る古典文学  
の華ともいえる「源氏物語」の  
千年紀(ミレニアム)にあたり  
ます。今ひとたび、日本文化の

原点の一つであるこの汲めども  
尽きない素晴らしい古典の水脈  
から、現代の日本が失いかけて  
いる大切なものを汲み上げる機  
会にしたいとこの一年、産学公  
を挙げ様々な取組が展開されま  
す。平成二十三年には京都で「国  
民文化祭」も開かれますが、日  
本の文化の「未来の扉」を開け  
るためにも「京都」の力が求め  
られていると思います。

「安心・安全、希望の京都」づ  
くりのため、本年も全力で京都  
府政を推進してまいりますので、  
府民の皆様のご積極的なご参加を  
心からお願ひいたします。  
結びにあたり、この一年の皆  
様のご健勝とご多幸を心からお  
祈り申し上げます。



与謝野町議会議長  
糸井 満雄  
いとい みつお

まちづくり計画の着実な推進を

新年あけましておめでとうご  
さいます。  
町民の皆様には、輝かしい平  
成二十年の新春をご家族お揃い  
でお迎えのことと心からお慶び  
申し上げます。  
新しい年が町民の皆様にとつ  
て健康で明るい年でありませよ  
う、また与謝野町にとって繁栄  
をもたらす素晴らしい年になり  
ますよう、お祈り申し上げます  
とともに、日頃からの議会に対

町を取り巻く大変厳しい状況の  
下、合併により一層行財政運営  
の効率化が強く求められ、そし  
て旧町の垣根を越えて、町民の  
心が一つになれる安心・安全の  
まちづくりを推し進めるための  
礎を築く年であったと思ひます。  
そして新町のシンボルとして  
花はひまわり、町の木はツバキ  
に続き、三月には、町の歌も出  
来ました。また、新しい町与謝  
野町の予算が策定され、初めて

ふれあいのまち」を将来像とし  
た「総合計画」が策定されまし  
た。  
本年は、与謝野町三年目を迎  
える年となりました。当地域で  
は景気は一向に回復の兆しは見  
られず、厳しい状況の中ではあ  
りますが、本年はこれら「行政  
改革大綱」「総合計画」に基づ  
き与謝野町のまちづくりを着実  
に推し進めていかなければなり  
ません。

報システムの整備など課題は山  
積しております。  
一方、今、国をはじめ地方は  
行財政改革や三位一体改革、地  
方分権改革など重大な改革が引  
き続き推進される大変重要な年  
になるものと思ひます。  
このような状況の中で、私た  
ちはこれらに対し、誠意をもつ  
て応えていかなければなりません。  
与謝野町が今後歩むべき方向

て住民福祉の向上に努めてまい  
る所存であります。  
町民の皆様には今後ともご指  
導、ご鞭撻のほどよろしくお願  
い申し上げます。  
今年一年が町民の皆様にとり  
まして、幸多い年でありませよ  
う心からお祈り申し上げます、年頭  
のご挨拶と致します。

災害に対する意識と備えを



与謝野町消防団長  
小池 潤一郎  
こいけ じゅんいちろう

あけましておめでとうござい  
ます。新年をご家族お揃いでお  
健やかに迎えになられたこと  
心からお慶び申し上げます。  
町民の皆様には、日頃より消  
防団活動につきまして、格別の  
ご理解とご協力を賜り厚くお礼  
申し上げます。  
与謝野町誕生と同時に発足し  
た消防団も、丸二年になろうと

し、合併による組織づくりや団  
統一事項など、ようやく体制も  
落ち着いて参りました。  
合併当初より、「火災ゼロの  
町・与謝野町」を目指して消防  
団活動を実施して参りましたが  
残念ながら昨年は、一昨年より  
一件増の十二件の火災が発生  
しました。火災の原因は複雑多  
様化しておりますが、注意して  
火を取り扱うことにより出火を  
防ぐことが出来ます。消防団で  
は引き続き「火事を出さない、  
出させない」をスローガンに防  
火意識の高揚を図るため徹底し  
た予防消防に努めて参ります。  
さて、昨年は、与謝野町消防

団発足後、初めての「町長査閲  
を実施いたしました。旧町消防  
団の訓練内容の統一から始まり  
連日の訓練を経て、当日は素晴  
らしい天候のもと、団員が一丸  
となつて、日頃の訓練の成果を  
十二分に発揮し、当町消防団の  
消防力を遺憾なく披露してくれ  
たと振り返っております。  
また、自然災害では、幸いな  
も当町管内におきましては、大  
きな災害は発生しませんでした  
が、国内に目を転じますと、三  
月には、マグニチュード6・9  
を記録した能登半島地震、七月  
には、マグニチュード6・8を  
記録した新潟県中越沖地震と大

きな地震が相次いで発生するな  
ど、いっどこで災害が起きても  
おかしくない状況であります。  
町民の皆様におかれましては日  
頃から災害に対する意識と備え  
を十分にお願ひしたいと存しま  
す。  
我々消防団は、日夜、消防防  
災の要として活動していること  
ろですが、消防団を取り巻く社  
会的環境は近年大きく変化し、  
自営業の団員が減る一方、会社  
員等の団員が増え、昼間の火災  
等に出動する団員や新入団員の  
確保が難しいなど大変厳しい状  
況にあります。しかしながら、  
近年の災害発生現場において、

多数の消防団員が目ざましい活  
躍をし、その重要性が改めて認  
識されていきます。  
本年も町民の皆様のご健康と財  
産を守り「自分たちの町は自分  
たちで守る」という消防精神の  
もと、団員一丸となつて更なる  
努力と精進をして参る所存であ  
ります。町民の皆様のお一層  
のご理解とご協力を賜りますよ  
うお願ひ申し上げます。  
結びに、町民の皆様のご健勝  
と、本年が災害のない平穏な年  
でありますよう心から祈念し、  
新年のご挨拶といたします。

# 功績・功労をたたえて

高齢者叙勲 旭日単光章  
今田 壽一さん(漣)

高齢者叙勲がこのほど発表され、今田壽一さんが旭日単光章を受章されました。

今田さんは、昭和四十五年に加悦町議会議員に初当選して以来、昭和五十七年までの三期十二年の永きにわたり、建設委員会委員、総務委員会委員、総務委員会副委員長、監査委員など数々の議会の要職を歴任し、円滑な議会運営と住民の期待に応える施策の実現に尽力するとともに、町政と地方自治の発展に多大な貢献を果たされました。今回の受章はこれらの功績が認められたものです。



理事長の浦田充弘さん

地球温暖化防止活動 環境大臣表彰

NPO法人丹後の自然を守る会さん

地球温暖化防止に功績のあつた個人・団体を表彰する、平成十九年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰がこのほど発表され、NPO法人丹後の自然を守る会が「対策活動実践部門」で表彰されました。

同法人は、住民の協力により回収した廃食用油を、地域でバイオディーゼル燃料に精製し、給食センターや衛生プラントなどの車の燃料として再利用する「廃食用油再生利活用プロジェクト」を行っており、この活動が評価され受賞となりました。



代表取締役の小田浩二さん

京都府農林水産業功労者表彰

有限会社あつぷるふあーむさん

平成十九年度京都府農林水産業功労者表彰式が十二月一日、京都府総合見本市会館で行われ、「活力ある農山漁村づくり団体」として、有限会社あつぷるふあーむが表彰されました。

同社は、町と連携して自然循環農業を推進するため、「京の豆っこ肥料」散布などを行い、情報誌の発行や「りんご祭り」の開催など消費者との交流活動を展開し、活力ある農村づくりに貢献したことが評価され、今回の表彰となりました。

## ◎与謝野町子ども発表会

### 心に響いた みんなのメッセージ

与謝野町子ども発表会（与謝野町青少年育成会主催）が11月24日、野田川わくばるで開催されました。町内の小中学校と加悦谷高校から13人の子どもたちが壇上に立ち、体験を通して学んだこと、将来の夢など、様々なテーマで発表しました。また、クリーンキッズ与謝野からも発表があり、訪れた人たちは真剣に子どもたちのメッセージに耳を傾けていました。



少年野球クラブで学んだこと  
●石川小6年 伊達 光輝



将来の夢  
●三河内小6年 小田 あかり



国際理解を勉強して私たちにできること  
●岩滝小6年 三野 翔平



私の大きな夢  
●加悦小5年 藤本 未紅



地球の危機を救おう  
●桑飼小6年 吉岡 志乃



自分の未来を見つめて  
●市場小6年 古井 菜月



大好きなふるさと 岩屋  
●岩屋小6年 安達 拓也



思い出のサマーキャンプ  
●山田小5年 三富 まこ



私の将来の夢  
●与謝小6年 岩出 江理



この星空と海を守るために  
●江陽中1年 浪江 由唯



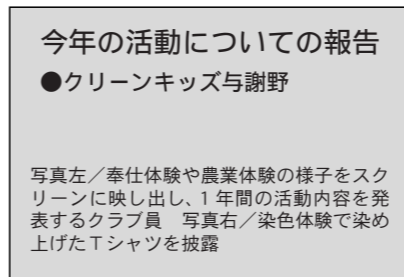
伝統行事に学ぶ  
●橋立中2年 三田 友可理



私のふるさと  
●加悦中3年 大木 美佳



サマーキャンプの高校生リーダーを体験して  
●加悦谷高3年 藤原 彩香



今年の活動についての報告  
●クリーンキッズ与謝野

写真左/奉仕体験や農業体験の様子をスクリーンに映し出し、1年間の活動内容を発表するクラブ員 写真右/染色体験で染め上げたTシャツを披露



## 入賞作品 大公開

テーマを「きもの」「ひまわり」「自由題」の三句一組で募集していた「第十二回江山文庫俳句大賞」の表彰式が十一月二十五日、加悦地域公民館で行われました。選者には現代俳句協会会長の宇多喜代子先生を迎え、今年は四百六十一人から千三百八十三句の応募がありました。

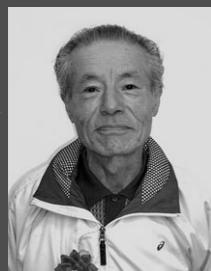
- 江山文庫大賞
- 賞狩水を豊かに大江山 四方格(綾部市)
  - 与謝野町長賞 うすものをたたむ折鶴折るやうに 町井すみれ(茨城県)
  - 教育長賞 向日葵の淋しき正午正午過ぎ 宮野しゆん(山口市)
  - 宇多喜代子賞 水よりもやはらかく蛇泳ぎをり 衣川登代(福知山市)
  - 特選(六句・投句順) 水足りてある一村の睡りかな 中村重義(福岡県)
  - 大鯉のぐらりと春の水揺する 平野暢行(栃木県)
  - 永き日の一人に廻る観覧車 大槻美千江(舞鶴市)
  - 八月やここに兵士を送りし駅 池田信二(神奈川県)
  - 藍浴衣着て夫の背の新しき 村松洋子(東京都)
  - 白地着て淵瀬の魚のごとくある 近藤ひかる(熊本県)
  - 秀逸(十五句・投句順) 「きもの」 追羽子や振袖重くひるがへし 山口ひかる(佐賀県)
  - 岩田帯締めてゆるやか藍浴衣 大平景栄(新潟県)
  - 羅や未だ消えざる被爆痕 加藤浩(広島県)
  - くるぶしを離れぬ風や藍浴衣 宮脇美智子(神奈川県)
- 「ひまわり」
- ひまわりに見られ居るなり機を織る 栗山チヨコ(愛知県)
  - ひまわりや「イ紐」「口紐」のクラス会 安川節子(京都市)
  - 向日葵の一茎鋼の如きかな 田中重実(長野県)
  - 門前にひまわり四五本機の音 桐村好美(与謝野町)
  - 向日葵やいつも元気なんて嘘 井上綾子(奈良県)
- 「自由題」
- 水草生ふ端から揺れてくる水面 石川明(秋田県)
  - 雪解川海へ出てゆくゆらぎかな 志村美好(埼玉県)
  - 単線の山陰線や芒の穂 谷口一好(神奈川県)
  - 大江山に向かつて庭の水を打つ 天野逸風子(与謝野町)
  - 一酌の名水あまき磯清水 糸井よし子(宮津市)
  - 恋人の耳が近付く雷雨の夜 小橋辰矢(岡山市)
  - 入選(三十句・町内の方の作品のみ) 大江山背にひまわりの招きいる 牛田志げ子(与謝野町)
  - 向日葵の万の向く方新町舎 井田晴美(与謝野町)
  - 天領のまちの七夕竹そよぐ 宮崎とし子(与謝野町)
  - 雷雲を背負いて重き大江山 宮野佐規子(与謝野町)



安田清さん



明石一郎左衛門さん



# 京都府農山漁村伝承技能登録 農山漁村の伝統技能者として 安田さんと明石さんが登録されました

丹後地域の農山漁村  
伝統技能登録証の交付  
式が11月21日、京都府

丹後広域振興局で行われ、しめ縄・祝儀  
づくり技能で安田清さん(岩屋)が、また  
木工細工技能で明石一郎左衛門さん(後野)  
が伝承技能者として登録されました。

京都府では、全国に先駆け平成9年度  
から農山漁村地域で活躍される方々が実  
践されている伝統的で貴重な生産・生活  
技能を広く募集し、登録・伝承すること  
により、地域社会の大切な財産として次  
世代に引き継いでいく取り組みを行って  
います。

安田さんは、父親から受け継いだ技能  
を生かし、クリーンキッズ与謝野の子ども  
たちや公民館などでしめ縄づくり教室を  
行うなど技能の伝承に努めておられます。

また、木工細工を独学で学んだ明石さん  
は、初盆や祭事の提灯台などを受注生  
産で製作されています。加悦SL広場には  
明石さんが製作したSL鉛筆立てが店  
頭に並べられ、200分の1スケールの展  
示用木製SLは好評を博しています。



しめ縄(左)、祝儀(右)、木工細工(中)

## ●総合計画答申 まちづくりの 羅針盤が 完成しました



答申書を町長に手  
渡す新田会長(中)  
と小西副会長(右)

町から与謝野町総合計画審議会に諮問していた「与謝野町総合計画」の答  
申書が12月5日、新田榮一<sup>にった えいいち</sup>会長(幾地)と小西照美<sup>こにし てるみ</sup>副会長(加悦奥)から太  
田町長に提出されました。

審議会では、平成18年11月に諮問を受けて以降、まちづくりアンケート  
などを行い住民ニーズの把握に努め、5回の審議会と数多くの合同会議で慎  
重審議を重ね、今後10年間の基本構想と今後5年間の基本計画を策定しました。

「この総合計画は町民の手作りのもの。特に要望が多かった、産業の活性化、  
行財政改革、子どもの健やかな成長、安心・安全の4本を柱にまちづくりを  
進めて欲しい」という新田会長からの要望に、「実施計画を早急に立て、具  
体的に実行に移していきたい」と町長は答えました。

この後、総合計画の基本構想は12月議会で承認され、平成20年度からこ  
の計画に沿ったまちづくりが進められることとなります。



## ●防犯年末パトロール 地域の安心・安全のため

各種犯罪が多発する年末を迎える  
にあたり、与謝野町防犯推進協議会  
が12月5日と18日に町内の各地域で  
「防犯年末パトロール」を実施しま  
した。

パトロールには、防犯腕章や懐中  
電灯を手にした、たくさんの防犯推  
進協議会委員が参加し、宮津警察署  
員の協力のもと、数人ずつのグル  
ープに分かれ、薄暗く防犯上危険な箇  
所などを点検しました。



## ●商工会合併契約調印式 商工会がひとつに

与謝野町の誕生を受けて進められ  
てきた、3町商工会の「合併契約調  
印式」が11月26日、加悦町商工会  
館で行われました。

7月3日に合併協議会を立ち上げ、  
協議会や委員会、幹事会などで協議  
が重ねられ、26項目の協定項目、  
新商工会の基本理念などが決められ  
ました。合併の期日は平成20年4  
月1日で、本所を野田川町商工会館  
に、加悦地域、岩滝地域には支所が  
置かれることとなります。



## ●岩滝幼稚園しめ縄づくり すてきなしめ縄ができたよ

農山漁村伝承技能者として登録さ  
れた安田清さん(P11)を迎えて、  
12月17日、岩滝幼稚園でしめ縄づ  
くりが行われました。

作業は、安田さんが持ってこられ  
たしめ縄に、園児たちが色紙などで  
手作りした飾りをつけていくもの。

できあがった色とりどりのしめ縄  
を見た安田さんから「世界でたった  
ひとつしかないしめ縄ができました」  
とがんばりを褒められると、園児た  
ちはうれしそうにしていました。



## ●YOSANO冬イルミネーション「詩季彩」 冬を彩るイルミネーション

冬の恒例となった岩滝のイルミネ  
ーションが名称も新たに「YOSANO  
冬イルミネーション「詩季彩」」と  
して12月9日から灯されました。

町全体が明るく活気に満ちあふれ  
ることを願い、岩滝町商工会青年部  
により始められたこの催し。毎年目  
をひく、岩滝町商工会館前の電飾の  
図案には岩滝小5年の三野明穂<sup>みの あきほ</sup>さん  
の作品が採用され、その2つの大き  
なベルが放つやさしい光は通りゆく  
人の目を楽しませてくれました。

## ●三河内幼稚園作品展 みんな大好き 「三河内曳山祭」



手作り神楽の舞に  
見入る園児たち。  
左奥に見えるのが  
山屋台と大織

恒例の「三河内幼稚園作品展」が12月15日から18日まで開催され、「曳山  
祭〜どでっさっさ・どでっさっさ〜」をテーマに展示されました。

三河内幼稚園では、造形活動を通して豊かな表現力を育てることを目的に  
毎年作品展を開催しており、今年子どもたちが大好き  
な「三河内曳山祭」を表現。園児たちは提灯や人形を手  
作りし、「曳山祭」の代名詞とも言える豪華絢爛な山屋台  
や見送り幕は、地域の協力を得て完成させました。

会場となったホールに足を踏み入れると、そこはまさ  
にお祭りの雰囲気そのもの。18日には、園児たちが手  
作りした神楽や天狗で舞が演じられ、子ども屋台の太鼓  
が打ち鳴らされると、子どもたちの「どでっさっさー、  
どでっさっさー」という元気な声が響いていました。



本物にも勝るとも劣ら  
ない見事な見送り幕



## ●石川保育所 サンタさんへの手紙 サンタさんありがとう

石川保育所の園児たちが12月13日、  
サンタクロースへの手紙を手に石川  
郵便局を訪れ、思いを込めてポスト  
に投函しました。

手紙には、サンタクロースへの質  
問や欲しいプレゼントを書いたとの  
ことで、「北の国」に送られました。  
12月19日に石川郵便局から保育所  
へサンタクロースからの返事が届け  
られると、園児たちは一斉に玄関に  
集まり、目を輝かせながら読んでい  
ました。



## ●クリスマスパーティー ハリーと一緒に楽しもう

国際交流員のハリーさん主催の「ク  
リスマスパーティー」が12月25日、  
加悦保健センターで行われ、たくさ  
んの親子連れが参加しました。

色画用紙を使ってツリーの飾りを  
作り、みんなで飾ったり、各自持ち  
寄ったプレゼントを交換しました。  
最後に、自分たちでつくったクッキ  
ーやパンドロ(イタリアのケーキ)、  
クリスマス・プディング(イギリス  
のクリスマスケーキ)をみんなでお  
いしくいただきました。

# 特別支援教育について

「特別支援教育」という言葉は、テレビや新聞等でも、お聞きになられた方は多いと思います。

では、特別支援教育とはどのようなものかという点、特別教育（障害児教育）を進展させた制度です。

養護学校は特別支援学校へ、障害児学級は特別支援学級へと制度上の名称が変更されました。名称を変えるということは当然、中身も変わるということを意味します。

今までの特殊教育（障害児教育）と特別支援教育の大きな違いは、これまで特殊教育が対象としていた子どもたちのほかに、通常の学級で学習している子どもたちの中で困難さを持つ児童に対しても支援の範囲が広がったことです。

全般的な発達の違いは少ないけれど、計算することや書くことなどが困難であったり、集中することが困難であったり、あるいは友だちとコミュニケーションをとることが困難であったりする子どもたちも特別支援教育の対象となりました。

特別支援教育は、今まで以上に教育的ニーズのある子どもたちの実態を把握し、指導の方法を探り、計画的に指導する中で、課題の改善・克服をしていこうとする制度です。

各学校では、特別支援教育を進めていくために「特別支援コーナーディネーター」を位置付けています。特別支援コーナーディネーターは、支援が必要な児童に対してどのような手立てを組むことがよいかを校内や他の相談

機関（医療・福祉等）と連携し合い、調整していく役割を担います。



特別支援教育は、これまで以上に、児童生徒一人ひとりの課題に目を向け、どのような手立てをすれば、児童の持つ力をさらに伸ばしたり課題が克服できるかを具体的に考えていくという大きな役割があります。

第2回目は、生きていく上で土台になる「乳児〜幼児の頃」の様子を見ていきます。

赤ちゃんはお腹がすいたりおむつが濡れるなど、不快な状態になったり何かしてほしかったりすると泣きます。すると「ああ、お腹がすいたんだね。ちよっと待ってね」と言ってお乳をあげます。また、「おしっこだね、気持ちが悪いね」と声をかけながらおむつを替えます。

この時期に自分は絶対的に守られているという絶対信頼感や安全感が育つのです。この感覚は大人になってもいく上でとても大切な感覚なのです。

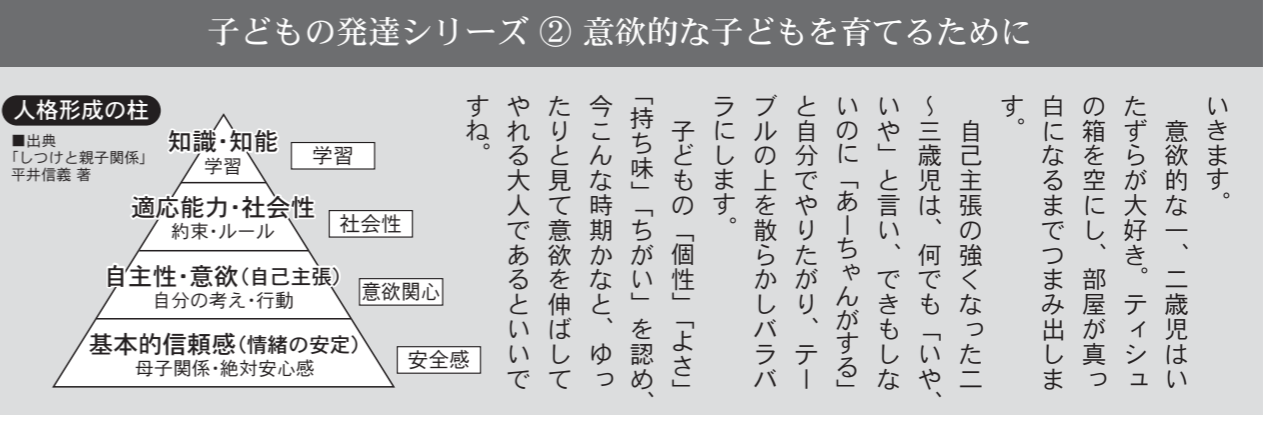
母子関係や家族関係から生まれる「絶対信頼感」が子どもの意欲や主体性を育てます。

探索欲求の芽生えた乳児は、母親のひざの上から離れ、母親が見えるところ、そして声がするところならどこまでもはいはいをして

いきます。意欲的な一、二歳児はいたずらが大好き。ティッシュの箱を空にし、部屋が真っ白になるまでつまみ出します。

自己主張の強くなった二〜三歳児は、何でも「いやいや」と言い、できもしないのに「あーちゃんがする」と自分でやりたがり、テーブルの上を散らかしバラバラにします。

子どもの「個性」「よさ」「持ち味」「ちがいを認め、今こんな時期かなと、ゆつたりと見て意欲を伸ばしてやれる大人であるといいですね。



## 健やか広場 ▶ 肩こり対策から生活習慣の見直しを！

**肩こり**は、多くの方が悩んでいる症状ではないでしょうか。二〇〇一年に厚生労働省が行った国民生活基礎調査によると、女性の場合は自覚のある症状の第一位、男性でも第三位に「肩こり」があげられています。今回は、日本人男性の90%、女性の95%が経験者だといえる肩こりについて考えてみたいと思います。

### 肩こりとは

筋肉が収縮して、「血流循環が低下」すると、「筋肉が酸素不足」になり、乳酸などの「発痛物質（老廃物）」が蓄積します。すると、疲労物質が筋肉内の神経を刺激して痛みを発生させて、さらに筋肉が収縮し、悪循環となります。

### 悪循環の原因とは

- ① 長時間の同じ姿勢、無理な姿勢
- ② 細かい作業、目の疲労、歯痛
- ③ 睡眠不足、疲労、偏食
- ④ ストレス
- ⑤ 血行不良、冷え
- ⑥ 病気 など

### 解消方法とは

肩こりを解消するにはやはり血流をよくすることが第一です。ではそのコツを紹介します。

### 日常生活で心がけるポイント

- ① 姿勢に注意し、時々変化を入れてみましょう。
- ② 柔軟な筋肉をつくる軽い運動をしましょう。体操やウォーキングも良いですよ。
- ③ 適度な栄養と十分な睡眠をとりましょう。
- ④ 体を締め付ける衣服の着用はやめましょう。
- ⑤ ぬるめのお湯にゆっくりつかってリラックスしましょう。

### 毎日の活動量を増やそう

肩こりがひどく、あまり動いていない方は注意してください。人間は立っているだけで身体を支える体力が必要になってきます。体力を上げるためには毎日の活動量を増やすことが重要になってきます。現在、一日当たり二千歩歩く方なら身体はそれに応じた体力になるので、動く量が多くなるということはそれに見合った体力に変わ

### 体操をしましょう

就寝前や入浴時等リラックスする時に、ゆっくり筋肉を伸ばすことで筋肉内の血流量を増やすだけでなく、神経をほぐして筋肉等のリラックス・脱力効果を促します。仕事中やスポーツをするときはストレッチでほぐして血液循環を

良くした後に、全身・目的部位の運動をすることによって体温を上げて目覚めさせて身体を動きやすくします。

### 最後に

肩こり以外に、めまい、しびれ、頭痛、背中の痛み、耳鳴り、胸が締めつけられるような痛み等「いつもと違う痛み」が「いつもより続く」場合には医師に相談しましょう。肩こりの症状も生活不活発等のきっかけを知らせるサインです。この機会に生活習慣を見直したり運動を始めるなどしてみませんか。「病は気から」とも言われます。今日から「わき」を伸ばして元気はつらついきましましょう。

### やってみよう！リラックス体操

**肩の上げ下げ**

- ① 両肩をグーッと上げる
- ② 一気にストンと下ろす
- ③ 両肩をグーッと上げる
- ④ 後方から一気に下ろす

**わき伸ばし**

- ① 足は肩幅、両手は後ろにあてる
- ② 息を吐きながら体を真横に倒し、わきを伸ばす

**連続船こぎ運動**

- ① 肩甲骨同士を近づける
- ② テンボよく10回

**腕・指伸ばし**

- ① 指をしっかりと伸ばす
- ② 1本ずつ指を伸ばす
- ③ 腕や指が痛気持ちいいほど伸ばす

Harry's column 新年明けましておめでとうございます!

皆さんはお正月をどういう風にお祝いしましたか。日本ではいろいろな習慣を持っていますね。邪鬼が家に入らないようにしめ飾りなどを玄関に飾っています。また、新しい年を迎え、幸せになるよう、玄関に門松を飾っています。

他国の習慣はどうだろうかと考えたことがありますか。私は他国の習慣が日本と違って、伝えたいことは一緒だと気付きました。

プエルトリコでは、自分の悩み、悪鬼を水に見立ててバケットに入れて家の窓から水を捨てる習慣があります。スペインでは、夜の12時になると鐘を12回鳴らします。そして、新しい年の1ヵ月ずつを幸せにするよう、鐘を1回ずつ鳴しながらブドウを一粒ずつ食べ、ワインでのどをキレイに洗い流します。スイスでは、乳製品をこぼすというのは豊かな生活の象徴ですから、新しい1年が豊かになるような幸運を呼び込むために、一滴のクリーム(乳製品)を床にわざとこぼすという習慣があります。オランダ人は昨年の悪鬼を出させるよう、道で焚き火をしてクリスマスツリーを燃やしてから花火を上げます。デンマークでは、



除夜になると、1年ためてきたいらぬ皿を友人の玄関に放り出します。壊れた皿が積もったらとても幸せな人、友人との関係がいいなどという意味になります。

私の生まれ故郷の台湾でもお正月をお祝いますが、お正月より、2月の旧正月のほうが賑やかです。旧正月になると、先祖のお参りに行きます。それに合わせて、花火を仕掛けたりするいろいろなお祭りがあります。

このように、国によってそれぞれの祝い方があります。

しかし、やり方や文化、伝統などが違って世界の中みんなが基本的に豊かになることや幸せになること、悪いことを追い出すという願いをもっています。

お正月のような習慣の元の意味がわかれば、「私の国のやり方とちょっと違いますが伝えることは一緒だ」と気付き、それでその国との親しみができるようになります。

世界中の皆さんが平和になりたいということは表面のみを見ていてわかるものではありませんが、お正月の習慣のような例を通して、世界中の人間の元の意思がはっきり表れると私は思っています。

時の贈り物 [第21回]

まちの文化財

江戸時代初めに、大阪と北海道を結ぶ西廻り航路が発展し、日本海の港を結んで海運を行う「北前船」の往来が盛んになりました。そして、米や地方の特産物などを大阪や各地の港に売買し、多大な利益を上げる商人が日本海や瀬戸内各地に台頭し、その名を広めるようになりました。江戸時代末期には、宮津や加悦、岩滝の豪商も北前船の船主となり、莫大な富を得てますます隆盛を極めました。中でも、当時の岩滝村のちりめん問屋である山家屋小室徳蔵は、早くから本格的に海運業に着手して、大小十四隻以上の船を持ち、莫大な富と財産を築き上げた後、長男の初蔵がその跡を継ぎました。家督を継いだ直後に、初蔵が地元板列八幡神社に奉納した船絵馬が今も残っています。長い間、屋外で奉納されてお



●文化財の種類/有形民俗文化財(未指定)  
●所有者/板列八幡神社(男山区)  
●時代/江戸時代末期 文久3年(1863)

板列八幡神社の船絵馬

— 北前船主の祈り —

やかさを失っているものの、その中には大小合わせて十二隻の船が朝陽の昇る穏やかな海に浮かぶ様子が描かれ、額には墨書で「文久三年(一八六三年)願主 山家屋初蔵」の文字を読み取ることができます。大きさは畳一畳分ほどの大きさがある立派な絵馬です。そして、この絵馬には、常に危険と隣り合わせの航海の無事を願う船主の祈りが形として残っています。

(与謝野町教育委員会)

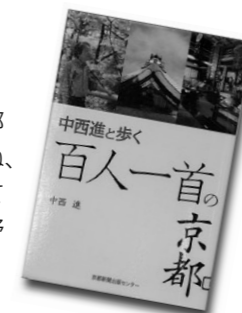
今月のオススメの一冊

一般書

『中西進と歩く百人一首の京都』

中西進/著  
京都新聞出版センター

京都市中央図書館長でもある国文学者・中西進が、小倉百人一首の中でも主に京都府内を舞台にした19首ゆかりの土地を訪ね、歌や作者へ思いをはせつつ、文章を綴っています。大枝山(大江山)、逢坂山、北野天満宮、上賀茂神社などを訪れています。



児童書

『十二支のはじまり』

荒井良二/絵 やまぢかずひろ/文  
小学館

今年はねずみ年。十二支の一番最初はなぜねずみなのでしょう。この本は十二支に出てくる動物の種類と順番が楽しい物語とゆかいな絵でわかる絵本です。12月のある日、お正月には「何をしよう、誰か遊びに来ないかな」と考えた神様は、いいことを思いつきました…



●図書館の雑誌を皆さんにお譲りします

図書館で保存期限が切れた雑誌をリサイクルとして皆さんにお譲りします。

■日時

2月1日(金)～3日(日) 午前10時～午後6時

■場所

与謝野町立図書館 和室コーナー周辺

■内容

○平成15年9月から平成16年8月末までに購読した雑誌47種類約730冊。雑誌タイトルは図書館ホームページでご確認ください。

○1人3冊まで。電話等での予約、取り置き、交換は受け付けられません。

○お渡しする際には、図書館カードを提示してください。先着順でなくなり次第終了します。



●蔵書点検のため臨時休館します

図書館の本をチェックする棚卸を次のとおり行います。休館中はお不便をおかけしますが、ご協力とご理解をお願いします。

■期間

<本館> 2月19日(火)～22日(金)

<加悦・野田川分室> 2月14日(木)～15日(金)

新着図書

【一般書】●『モンスターマザー 世界は「わたし」でまわっている』石川結貴/光文社 ●『わたしってどんなヒトですか?』太田垣晴子/メディアファクトリー ●『あやしい健康法』竹内薫/宝島社 ●『ゴールデンランパー』伊坂幸太郎/新潮社 ●『目覚めよと彼の呼ぶ声がする』石田衣良/文藝春秋 ●『きみを想う夜空に』ニコラス・スパークス/エクスマレッジ

【児童書】●『パスワード悪魔の石 中学生編』松原秀行/講談社 ●『ぼくらが作った「いじめ」の映画「いじめ」を演じて知った本当の友情』今西信子/佼成出版社 ●『引退犬命の物語 命あるかぎり輝きつづけた盲導犬たち』沢田俊子/学研 ●『イモムシかいぎ』市居みか/小学館 ●『どこどこ?セブン9』キッズレーベル

図書館のご案内

問い合わせ先

与謝野町立図書館

(知遊館一階)

☎(46) 2451

加悦分室

(加悦地域公民館二階)

☎(43) 0376

野田川分室

(町中央公民館一階)

☎(43) 0087

開館時間

午前10時～午後6時

休館日

●本館・加悦分室(毎週月曜日)

●野田川分室(毎週火曜日)

●共通(毎月最終木曜日)

おはなし会のお知らせ

【本館】

一月十二日(土)

二月二日(土)

時間は、いずれも午前10時

三十分から午後三時から

【野田川分室】

一月十九日(土)午後三時から

【加悦分室】

一月十二日(土)午後三時から

※野田川・加悦分室いずれも、二月におはなし会を行いません。



職員人事異動

12月31日付で、次の職員が退職しましたのでお知らせします。

- 桑飼保育園 保育士 小西 薫



新教育委員に今西藤美さんが就任

問い合わせ先 ◎教育委員会 教育総務課 ☎43-2192

与謝野町教育会教育委員の杉本仁志さんの死去に伴い、十二月定例会で今西藤美さん（算所）を後任の委員とすることが決まり、十二月二十一日に新教育委員として任命されました。

今西さんは加悦小学校評議員をはじめ、与謝野町図書館協議会委員、与謝野町総合計画審議委員会としても活躍中です。任期は平成十九年十二月二十一日から平成二十年六月三十日までです。



所得税・町府民税の申告相談と受付は3月17日(月)まで

問い合わせ先 ◎税務課 ☎44-2084

毎年期限近くになると大変混雑しますので、申告はできるだけ早く済ませてください。

●ご不明な点は税務課（☎44-2084）または宮津税務署（☎22-3273）へお問い合わせください。

●町府民税の申告の必要な方

平成二十年一月一日現在、与謝野町に居住されている方は申告書を提出してください。所得のない方も、その旨を申告してください。

ただし、所得税の確定申告を提出された方や、給与所得だけで勤務先から給与支払報告書を提出された方、税法上の扶養親族になつている方、また公的年金等に係る所得のみの方で、所得割の納税義務を負わない方は改めて申告書を提出する必要はありません。

●所得税の申告の必要な方

○事業をしている方や不動産収入のある方、土地や建物を買った方などで、平成十九年中の所得の合計額が、各種所得控除の合計額より多い方。

○給与の収入金額の合計額が二十万円を超える方。

○給与を一カ所から受けている方で、給与所得および退職所得以外の所得が二十万円を超える方。

○給与を二カ所以上から受けている方で、年末調整を受けていない給与収入と給与所得や退職所得以外の所得が二十万円を超える方。

●申告に持参いただくもの

- 印鑑
- 平成十九年中の収入がわかる書類
- 給与所得者や年金受給

●地区出張相談の廃止について

町が昨年まで行っていた「地区出張相談」を今年度から廃止させていただきます。

「地区出張相談」は、各庁舎から離れている地区へ職員が出向き、交通手段のない方などの利便を図る目的で行ってきまされたが、自動車やバイクで来場される方も多くみられました。

また、出張地区の数が多いため、会場に出向く職員も限られており、地区によっては長時間待たせていただき、大変ご迷惑をかけた地区もありました。今年度からは、地区を限定せずに都合の良い日に相談に来ていただくように改めましたので、ご理解とご協力をお願いします。

混雑解消のためにご協力ください！

- ▼申告書が郵送されてきた方は、必ず封刺し、住所・氏名・フリガナを記入しておいてください。
- ▼事業所得（営業、その他事業、農業所得）や不動産所得のある方は、収支内訳書（少なくとも、必要経費を項目別に年間分を計算）を記入して持参してください。

11月の入札結果をお知らせします

問い合わせ先 ◎総務課 ☎46-3003

入札日	工事番号	工事名	工事概要	工事場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	工事期間
11/9	19与特下第29号	三河内地区面整備①工事	開削工、人孔・公共樹設置	三河内	16者	㈱石田建設	12,986	9,188	12,000	92.4	H19/11/21～H20/3/25
11/9	19与特下第26号	加悦奥地区面整備③工事	開削工、人孔・公共樹設置 マンホールポンプ設置	加悦奥	16者	村井建設㈱	17,619	12,654	16,380	92.9	H19/11/13～H20/3/25
11/9	19与特下第27号	温江地区面整備②工事	開削工、人孔・公共樹設置	温江	16者	安東組	18,185	12,859	16,710	91.8	H19/11/16～H20/3/25
11/9	19与特下第30号	岩屋地区面整備③工事	推進工、開削工、人孔・公共樹設置 マンホールポンプ設置	岩屋	10者	丹後北都不動産 ㈱加悦支店	27,017	20,544	20,544	76.0	H19/11/20～H20/3/25
11/9	19与特下第25号	加悦奥地区面整備②工事	開削工、人孔・公共樹設置 マンホールポンプ設置	加悦奥	10者	山城建設㈱	30,501	22,871	22,871	74.9	H19/11/21～H20/3/25
11/9	19与特下第31号	岩屋地区面整備④工事	開削工、人孔・公共樹設置 マンホールポンプ設置	岩屋	10者	小島建設㈱	35,001	27,424	27,424	78.3	H19/11/21～H20/3/25
11/9	19与道橋新工第29号	岩屋川線道路改良 (その2) 工事	側溝工、横断管渠工 路盤工、舗装工	岩屋	10者	㈱きしべ建設	23,557	17,160	17,160	72.8	H19/11/20～H20/3/31
11/9	19与河川改工第5号	中里排水路改良工事	側溝工、樹設置工	与謝	4者	江笠建材㈱	4,327	3,094	3,880	89.6	H19/11/21～H20/3/25
11/9	19与水改委第3号	三河内水道用地測量業務	用地測量	三河内	9者	㈱アズクリエイト	1,406	-	1,200	85.3	H19/11/15～H20/1/20
11/9	19与水改委第2号	三河内簡易水道実施設計業務	簡易水道実施設計業務	三河内	9者	㈱新大阪エンジニアリング 福知山事務所	9,515	-	8,100	85.1	H19/11/15～H20/1/20
11/9	19与建耐委第1号	与謝野町建築物耐震改修促進計画策定業務委託	耐震改修促進計画策定業務	町内全域	2者	㈱地域計画建築研究所	3,900	-	3,650	93.5	H19/11/20～H20/3/28
11/9	19与特下第23号	岩屋地区面整備②工事	開削工、人孔・公共樹設置	岩屋	9者	㈱山田電気商会	23,778	17,014	21,855	91.9	H19/11/19～H20/3/25
11/9	19与特下第24号	加悦地区面整備①工事	開削工、人孔・公共樹設置	加悦	10者	㈱川見建設丹後支店	26,142	18,829	18,829	72.0	H19/11/14～H20/3/25
11/9	19与住環工第1号	与謝野町資源ごみステーション カード新築工事	撤去工、電気設備工 機械設備工、建築工	明石	5者	㈱川見建設丹後支店	28,510	24,188	26,900	94.3	H19/11/20～H20/2/20
11/28	19与特下第32号	三河内地区面整備②工事	開削工、人孔・公共樹設置	三河内	4者	㈱井田建設	8,244	5,781	7,000	84.9	H19/12/7～H20/3/25
11/28	19与特下第33号	幾地区面整備②工事	開削工、人孔・公共樹設置 マンホールポンプ設置	幾地	17者	㈱三野工務店	20,776	15,895	19,290	92.8	H19/12/6～H20/3/25
11/28	19与上第3号	下水道関連配水管布設替 (男山地区②) 工事	配水管布設替、給水管・仮設管設置工	男山	13者	丹後北都不動産 ㈱加悦支店	3,666	2,984	2,984	81.3	H19/12/7～H20/3/28
11/28	-	下水道台帳作成業務 (公共：岩滝地域分)	下水道台帳作成業務	男山	5者	アジア航測㈱ 京都支店	2,096	-	1,790	85.4	H19/12/7～H20/3/28
11/28	-	下水道台帳作成業務 (特環：加悦地域分)	下水道台帳作成業務	算所・加悦奥 加悦・滝・明石	5者	内外エンジニアリング ㈱京都北営業所	2,864	-	2,430	84.8	H19/12/7～H20/3/28
11/28	-	下水道台帳作成業務 (特環：野田川地域分)	下水道台帳作成業務	三河内・幾地・明石 上・下・山・川	5者	アジア航測㈱ 京都支店	3,458	-	2,940	85.0	H19/12/7～H20/3/28

●申告相談の日程

相談先	相談会場	2月							3月							時間 ※12:00～13:00は休憩	対象税目									
		18日(月)	19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)	25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	29日(金)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)			7日(金)	10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	17日(月)		
税務署相談 (税務署職員)	宮津税務署	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9:00～17:00	所得税
税理士による 無料相談	加悦町商工会		○			○				○															9:30～15:00	所得税
	岩滝町商工会			○						○																
	野田川町商工会				○						○															
町役場相談 (税務課職員)	加悦保健センター (元気館)		○	○	○																				9:30～15:30	所得税 住民税
	知遊館										○	○	○													
	野田川庁舎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9:00～17:00	

- 与謝野町役場  
☎46-3001 (代表)
- 岩滝地域振興課  
☎46-3002
- 総務課  
☎46-3003  
総務課(消防安全係)  
☎46-3004
- 企画財政課  
☎46-3084
- 企画財政課(情報システム係)  
☎46-3085
- 建設課  
☎46-3267
- 商工観光課  
☎46-3269
- 会計室  
☎46-3007
- 
- 野田川庁舎  
☎44-2081 (代表)
- 野田川地域振興課  
☎44-2082
- 住民環境課  
☎44-2083
- 税務課  
☎44-2084
- 水道課  
☎44-2085
- 下水道課  
☎44-2086
- 
- 加悦庁舎  
☎43-1511 (代表)
- 加悦地域振興課  
☎43-1512
- 福祉課  
☎43-1513
- 保健課  
☎43-1514
- 農林課  
☎43-2191
- 議会事務局  
☎43-0215
- 教育委員会 教育総務課  
☎43-2192
- 教育委員会 教育推進課  
☎43-2193

## 与謝野町地域公共交通会議が発足

問い合わせ先 ◎企画財政課 ☎46-3084

- 委員名簿 (敬称略、括弧内は団体等)
- ◎太田 貴美 (与謝野町長)
  - 田村 充啓 (国土交通省近畿運輸局)
  - 矢野 均 (岩滝地域区長会)
  - 池田 治 (野田川地域区長会)
  - 北風 雅雄 (加悦地域区長会)
  - 須田 芳一 (老人クラブ連合会)
  - 水口 敏子 (障害者福祉会)
  - 吉田 弘 (民生児童委員協議会)
  - 三井 健史 (NPO法人丹後福祉応援団)
  - 山上 正博 (社会福祉協議会)
  - 角 茂一 (丹後海陸交通㈱)
  - 角江 重光 (丹海バス労働組合)
  - 山根 隆幸 (加悦フェローライン㈱)
  - 川本 康博 (京都タクシー㈱)
  - 谷 三千峰 (日本交通㈱宮津営業所)
  - 井 英一 (㈱ハート急便)
  - 関 正典 (丹後土木事務所)
  - 小西 雅弘 (宮津警察署)
  - 大八木 操 (丹後広域振興局企画総務部)
  - 東 正 (丹後保健所)
  - 山崎 信之 (役場建設課)
  - 岡田 康利 (役場福祉課)
  - 吉田 伸吾 (役場企画財政課)
- ◎は会長、○は副会長

与謝野町の新たな「地域公共交通」の構築と、一人で路線バスに乗ることができない要介護者・障害者の方を対象とした「福祉有償運送」について協議するため、第一回与謝野町地域公共交通会議(会長/太田貴美町長)が十二月七日、知遊館で開催されました。

会議では、与謝野町社会福祉協議会福祉有償運送事業の現状、バス等の公共交通の現状と課題が報告され、今後の取り組み方針として次のことが確認されました。

【確認事項】

- ① 既存路線バスの再構築と、交通不便地区への新たな移動手段の導入はセットで行う
- ② 既存路線バスを、需要に即した効率的な交通体系へ再構築し、利用者にとって分かりやすく使いやすい乗り物に改善する
- ③ 交通不便地区に、再構築した路線バスとの交通ネットワークを考慮しながら、地域の実情に応じた乗合輸送サービスの提供を行う
- ④ 関係機関、住民、事業者と共に取り組みを進める

会議の様子は、今後町ホームページで公開します。ぜひご覧ください。

## 午後7時までの夜間延長窓口を開設しています

与謝野町では、週3回(各庁舎1回)次の業務に限り、夜間延長窓口を行っています。

- 開設曜日
- <月>野田川庁舎
  - <水>本庁舎(岩滝)
  - <金>加悦庁舎
- 夜間延長窓口業務
- 出生、死亡、婚姻、離婚、転入、転出、転居の届け出
  - 戸籍、住民票の写し、印鑑証明、身分証明等の交付
  - 印鑑登録
- ※窓口では本人確認をしています。運転免許証等の身分証明書をご持参ください。

## 「京の豆っこ米」を学校給食に

問い合わせ先 ◎農林課 ☎43-2191 / 学校給食センター ☎42-7206

与謝野町では、恵まれた自然の力を生かすため、本来なら廃棄されるおから、魚のアラ、米ぬかといった自然由来の資材を有効に活用した有機質肥料「京の豆っこ」を使って、米や野菜の生産を行う「自然循環農業」を推進しています。

その一つである「京の豆っこ米」は、与謝野町のブランド米として、平成十九年度は百二件の農家により約六十八トン生産されました。

食の安全や健康に対する関心が高まっている中、こうした地域特有の環境に配慮した安心・安全でおいしい食材を学校給食で使用するこ

「京の豆っこ米」が、十二月三日の学校給食から子どもたちに届けられています。

今後は年間約二十トンの「京の豆っこ米」が、全小学校、加悦・江陽中学校、三河内幼稚園の週三回の米飯給食として使われます。



子どもたちに大好評(桑飼小学校)



十二月三日に「初入荷式」が野田川町商工会館で行われました

## 交通安全に取り組んでいます

与謝野町交通安全対策委員会

問い合わせ先 ◎総務課 ☎46-3003



加悦小学校での自転車教室

●交通安全教室で指導しています

町内の保育所(園)、幼稚園、小学校で幼児や児童を対象に実施している交通安全教室では、宮津警察署交通巡視員の指導補助員として活動しています。



自転車道(算所・三河内境)での交通指導

●自転車の安全利用推進街頭指導

与謝野町交通安全対策委員会では、十一月二十日に自転車の安全利用推進街頭指導を実施しました。毎月二十日は、京都府全域で自転車の安全利用推進日となっています。

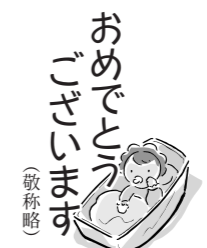
今回は町内の四力所で、通学や通勤途中の自転車利用者に対して交通安全指導を実施しました。

この欄で紹介する出生とお悔やみは、11月16日から12月15日までの届け出分です。役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

町内に配付している  
広報誌には掲載しています



町内に配付している  
広報誌には掲載しています



・まちのうごき・

平成19年11月末現在

人口	25,398人 (-17)
男	11,994人 (-7)
女	13,404人 (-10)
世帯数	8,983戸 (-5)